

6月の農作業

令和3年6月10日 J A 福井県奥越基幹支店・奥越農林総合事務所

今月のポイント

- ☆ 中干しの徹底と草刈りについて
- ☆ 鳥獣害対策情報
- ☆ 水稻苗の紋枯病対策について
- ☆ 特産野菜・花卉類の防除徹底

気象の推移

令和3年3月から令和3年5月の3ヶ月間では、平均気温は平年より高く、降雨量、日照時間は平年より多くなっています。

平均気温 (°C)		3月			4月			5月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	平 年	3.8	5.3	7.1	9.6	11.8	14.0	16.2	17.0	18.8
	令和3年	6.9	7.8	10.9	10.9	11.9	13.6	14.6	18.8	18.8

参考：3月から5月中旬までの積算値 平年 84.8 令和3年 95.4

降雨量 (mm)		3月			4月			5月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	平 年	54.9	51.8	54.4	45.4	48.3	48.9	45.1	58.8	41.0
	令和3年	32.0	52.5	64.0	25.0	58.0	98.0	104.0	90.5	90.5

参考：3月から5月中旬までの積算値 平年 407.6 令和3年 524.0

日照時間 (時間)		3月			4月			5月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	平 年	34.3	43.4	46.6	52.3	53.8	56.7	62.3	58.2	67.7
	令和3年	31.8	65.0	60.1	89.4	56.4	80.7	49.5	25.1	25.1

参考：3月から5月中旬までの積算値 平年 407.6 令和3年 458.0

北陸地方1ヶ月予報

予想される向こう1ヶ月の天候

向こう1ヶ月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1ヶ月の平均気温は、高い確率50%です。

週別の気温は、1週目・2週目・3～4週目のいずれの期間も、平年並または高い確率ともに40%です。

〈向こう1ヶ月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)〉

【気 温】 20 30 50

【降水量】 30 40 30

【日照時間】 30 40 30

〈気温経過の各階級の確率(%)〉

【1週目】 20 40 40

【2週目】 20 40 40

【3～4週目】 20 40 40

〈予報の対象期間〉

1ヶ月：5月29日(土)～6月28日(月)

〈予報の対象期間〉

5月29日(土)～6月4日(金)

6月5日(土)～6月11日(金)

6月12日(土)～6月25日(金)

■ 低い(少ない) □ 平年並 ■ 高い(多い)

水 稲

○生育状況と管理の考え方

5月は曇りの日が多かったため、生育および分けつの確保がやや遅れています。

茎数を早期に確保するため、6月は浅水管理による分けつを促進するとともに、丈夫な株を作りましょう。必要茎数が確保されたら、速やかに溝切り・中干しに移行することが重要です。

また、斑点米被害の原因となるカメムシ類の発生が予想されます。畦畔、雑草地の草刈りを行い、カメムシ類の繁殖を抑えましょう。

分けつの促進と水管理

- (1) 葉色が出始め引っ張っても苗が抜けなくなれば、根が活着できています。
活着を確認したら浅水管理とし、分けつを促します。
なお、計画外の追肥は、遅出来・青未熟の増加につながる為、行わないで下さい。
- (2) 稲が本格的に生長を始め、株がしっかりしたら、6月上旬までに溝切りを済ませます。
軽い田干しの後に行うと作業が効率的です。
- (3) 目標茎数の90%程度（1株18本）を確保したところで、中干しを行います。

本田除草と畦畔の草刈り

- (1) 稲の株が大きくなり、圃場を覆うまでは、除草剤により雑草を抑制しなければなりません。田植え時に使用した除草剤を確認し、必要に応じ、中期・後期の除草剤を散布します。なお、除草剤散布後の水管理に十分な注意を払いましょう。
- (2) カメムシ類は、出穂するまで主に畦畔、農道、休耕田などの雑草地で生息しています。7月上旬まで草刈りをこまめに行い、カメムシ類の繁殖を抑えます。また、イネ科雑草は種子がつく前に刈り取りましょう。
なお、畦を守る背の低い雑草は絶やす必要がないので、草刈りの際は、イネ科雑草や背の高い雑草など、害を及ぼす雑草を重点的に刈ってください。
- (3) 令和3年 県下一斉草刈りデー

第1回	6月19日（土）、20日（日）
第2回	7月 3日（土）、 4日（日）

さらに、奥越管内一斉草刈りデー「ナクソウ（7/9草）」運動を実施します。

斑点米の予防対策の徹底のため、7月9日前後の一斉草刈りにご協力をお願いします。

紋 枯 病 対 策

- (1) 紋枯病が発生した圃場では、菌が稲わらに付着して越冬するため、年々被害が増加します。6月中旬頃から圃場周辺部の確認を行い、病斑が確認された場合は、直ちに粒剤または粉剤で防除しましょう。

体 系	防除時期	薬剤名	使用量 (10a当り)	使用回数
粒剤 (多発圃場)	紋枯病初発時 (出穂10日前まで)	リンバー粒	3～4kg	2回まで
粉剤	紋枯病初発時	バリダシン粉DL	3～4kg	5回まで

雑 穀

そば播種までの圃場管理のポイント

- (1) 8月の播種に備え、早期に圃場の排水対策を開始
- (2) 圃場に額縁排水溝を設置（深さは25～30cm）
- (3) サブソイラや弾丸暗渠により、耕盤・心土を破碎し、圃場の透水性を向上
- (4) 大麦の収穫で排水溝が埋まった箇所は、手直し
- (5) 梅雨の間も圃場に水を溜めない
- (6) 帰化アサガオの第一世代が6月に開花します。

畦畔や圃場で帰化アサガオの開花が見られたら、抜き取るか、または、グルホシネート系除草剤（ザクサ、バスタ等）で枯らしてください。



- (7) 斑点米カメムシ発生防止のため、「ナクソウ運動」（7月9日前後）のタイミングで、ソバ作予定地の雑草対策（モアをかける、草刈機で刈る等）を行いましょう。

サトイモ

畝間灌水

- ・晴天続きの場合は、夕方3～4日おきに畦間灌水を行い、翌朝には排水する。
※灌水による肥料吸収効果で生育が促進されます。
- ・過乾燥になると、生育が遅れ子芋の着生・肥大が抑制されます。
※排水溝を掘るなどの対策を行い、灌水後に滞水が発生しないようにしましょう。

土寄せと芽かき

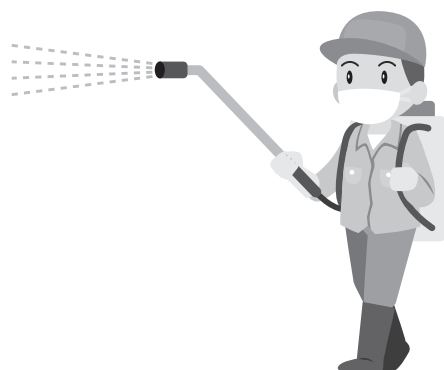
- ・株元への土寄せを行いましょう。
※日焼け芋の発生防止と収量向上効果があります。
- ・2芽以上出芽してきた場合には、生育の良い1芽を残し、残りの芽を除去しましょう。

疫病対策

- ・疫病予防のため、6月中旬に1度ジーファイン水和剤またはペンコゼブ水和剤を散布しましょう。
夕方の散布がおすすめです。
※散布する際には、必ず展着剤（スカッシュ、またはアプローチBI）を加用し、株全体にまんべんなくかかるよう散布してください。
※日差しが強く、気温の高い時間帯での散布は薬害発生の原因となります。

農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
ジーファイン水和剤	1,000倍	生育中	—	収穫前日まで
ペンコゼブ水和剤	500倍	生育中	2回	収穫7日前まで

- ・疫病は一度発生すると急速に被害が拡大していくため、自分の圃場の初発を見極めることが重要になります。
怪しい病斑が見られた際には最寄支店の営農指導員または奥越農林総合事務所までお知らせください。
※平均気温25℃以上で降雨が続くと疫病が発生しやすくなります。
※圃場の周囲など、風の影響を受けやすい部分から発生すると言われています。



ネギ

排水溝の整備

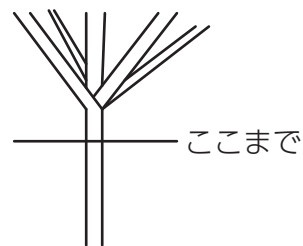
梅雨入り前に畦間の排水溝や額縁排水を施工し、排水性を高めてください。
排水溝の水が最終的に排水口に流れるようにすることが大切です。

除草と砕土について

ソバ跡圃場でソバが大量に発生している圃場があります。ソバが大きくなる前に管理機等で鋤きこむと同時に砕土率を上げ土寄せ作業が行いやすいようにしてください。また、砕土率が悪い（ゴロゴロした土が多い）についても同様な管理を行って下さい。砕土率の悪い圃場やソバが大きくなってしまった圃場（根の塊が多い圃場）では曲がったネギが多くなります。

土寄せについて

本格的な土寄せ作業は、茎の太さが14mm程度になってから行ってください。また、土寄せを行う時は襟首（えりくび）までの土寄せとして下さい。土寄せ初期から襟首（えりくび）を絞め過ぎると細いネギが多くなります。



防除について

ネギハモグリバエ類・スリップス類の発生が見られます。早期の防除が効果的です。

○軟腐病対策

農薬名	散布量 (10a当り)	使用時期	使用回数	備考
オリゼメート粒3kg	6kg	土寄せ時 (株元散布) ※梅雨入り前に必ず施用	2回	収穫30日前まで

○ネギハモグリバエ・アザミウマ対策

農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
ダントツ粒剤	—	収穫3日前	植付時1回 株元散布3回	3～6kg/10a使用する
プリロッソ粒	—	収穫前日	株元散布3回	6kg/10a使用する
ベストガード粒剤	—	収穫前日	植付時1回 株元散布3回	6kg/10a使用する

※同じ粒剤での連用は避けて下さい。

○異常気象対策

資 材 名	希釈倍数	使用時期	備 考
ホスプラス	1,000倍	育苗～収穫期	品質向上・増収・根の健全化

ナ ス

誘 引

株間70～80cmの4本立てとし、誘引方法は「縦糸誘引」とし、合掌上段の直管パイプに35～40cm（株間の半分）で等間隔にビニール紐（白糸系統が望ましい）を結び下段の直管パイプまで引きましょう。4本の主枝の伸長に合わせて、随時ビニール紐に結んでいきましょう。この時「テープナー」を使用すると作業が簡易になります。

ホ ル モ ン 処 理

1～3番花の石ナスの防止と着果以後の生育を安定させるため、開花当日の花にトマトトーン50倍液を花弁がぬれるまで噴霧しましょう。なお、二重散布を避けるため食紅を入れましょう。

防 除 に つ い て

○うどんこ病

農 薬 名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備 考
ベルクート水和剤	3,000倍	生育中	3回	収穫前日まで
モレスタン水和剤	2,000～3,000倍	生育中	3回	収穫前日まで

○ハダニ類、アブラムシ類

農 薬 名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備 考
モベントフロアブル	2,000倍	生育中	3回	収穫前日まで

キ ク

今月のポイント

- ・梅雨期に入ると病害虫が発生しやすくなります。早めの予防を心掛けましょう。
- ・また、べと病の多発が懸念されます。いったん発生すると止めるのが困難なため予防に努めましょう。
- ・病害虫に抵抗性が出ないようにローテーション防除を心掛けましょう。
- ・収穫時雨に濡れた場合付着している水滴を良く乾かして梱包しましょう。

○べと病

主な使用農薬 エムダイファー水和剤

○白さび・黒斑・褐斑・灰色かび病

主な使用農薬 ジマンダイセンフロアブル・チルト乳剤25・ダコニール1000など

○スリップス（アザミウマ類）

主な使用農薬 コテツフロアブル・アファーム乳剤・プリンスフロアブル・ディアナSC

○ハダニ類

主な使用農薬 ニッサラン水和剤・マイトコーネフロアブル



鳥獣害対策情報

・電気柵設置後の管理

- ①電線の高さに気を配り1段目は地表から20cm、2段目は1段目から20cm間隔で電線が張られているかチェックしましょう。斜面やくぼみがある場合は、地表面と1段目の隙間が20cmになるように柵の補強や隙間の修復を確実に実施することが重要です。
- ②草木が接触することで漏電し効果が低下するので、定期的に電気柵の点検や草刈りをしましょう。
- ③電圧4000V以上で24時間通電（昼夜連続）しましょう。
- ④イノシシ等の接触、倒木や落枝により、電線がたるんだ所やポールが倒れた箇所を修繕してください。強風の後、とくに注意が必要です。

・福井県サル出没情報共有システムの活用

- ①サル出没情報共有システムにメールマガジン登録をすると、お住まいの地域のサルの出没情報を受け取れます。
- ②ホームページではサルの出没位置情報を地図でチェックできます。
- ③追い払い等の対策がしやすくなりますので活用しましょう。

サルの出没情報がメールで受け取れます！

スマホ、パソコン等から「福井県サル出没情報共有システム」にアクセスし、「メールマガジン登録」をすると、お住まいの地域のサルの出没情報を受け取れます。

検索

福井県サル出没情報共有システム

福井県サル出没情報共有システムから、サルの出没情報についてお知らせします。

日時：20XX / XX / XX 10:00

地域：〇〇町

場所：△△集落

被害状況：農作物被害

周辺にお住まいの方は、十分ご注意ください。

